JAはだの

発行
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話0463(81)7711㈹
発行責任者 宮永均

秦野産「アロマレッド」鮮やか

シャッターチャンス

ニンジンの規格を確認するＴＡＣ㈱と生産者

ニンジン「アロマレッド」の出荷が、最盛期を迎えている。ＪＡが第三次地域農業振興計画の一環で、振興作物に位置付けている品目だ。ＪＡ全農かながわ中央ベジフルセンターを通じて、県内のＡコープやＪＡの直売所などに並ぶ。出荷は2020年1月末までの予定で、収量は約5㌧を見込んでいる。

今年も、ＴＡＣ（地域農業の担い手に出向くＪＡ担当者）が中心になって生産者をサポート。鹿の食害や台風の影響などがあったたものの、品質は上々だ。（4、5面に関連記事）

貯金はＪＡへ

うれしい特典も

現在、年末特別貯蓄運動を実施しています。12月30日（月）まで、新規で20万円以上の自動継続定期貯金を期間1年以上で契約した方に「くみあい利用券」を進呈。また、新規定期貯金20万円以上預け入れした方を対象に「秦野産の農産加工品詰め合わせ」を抽選で300人にプレゼントします。

なお、窓口にて定期貯金を新規で預け入れした方には「足柄茶」のボトル缶もプレゼントします。

詳しくは各支所・支店、または信用課まで。☎81-7716

農業まつりで地場産応援

笑顔集まる3万人

ＪＡはだのは16、17の両日、本所で農業まつりを開いた。実りの秋を祝うとともに、地域住民に秦野の農業やＪＡへの理解を深めてもらおうと、毎年開催しているもので、今年のテーマは「やっぱり地域産！　地域みんなが秦野の農業応援団!!」。市内外から約3万人が来場した。

秦野市農産物品評会で生産者を表彰

オープニングセレモニーには、高橋昌和市長や牧島かれん衆議院議員、神倉寛明、加藤剛両県議会議員らが駆け付け、祝辞を述べた。会場では、業種別部会が良質な農産物を販売した他、青年部や女性部などの模擬店が軒を連ね、多くの来場者でにぎわった。

まつりでは、第55回秦野市農産物品評会も併せて開催。市内の農家が丹精して育てた野菜や果樹、加工品などを出品し、品質の高さを競い合った。今年の各類の最優秀賞受賞者は7面「受賞おめでとう」に掲載。

大嘗祭に落花生

清水さん夫妻が供納

落花生を手にする清水夫妻

鶴巻南の清水正夫さん・富美子さん夫妻は12日、天皇陛下の即位に伴って皇居内に設けられた大嘗宮（だいじょうきゅう）で行われる大嘗祭に、落花生を納めた。

大嘗祭は、即位した天皇陛下が初めて執り行う「新嘗祭（にいなめさい）」。天皇陛下が、その年に収穫された米などを神々に供えた後、自らも食べて国と国民の安寧や五穀豊穣（ごこくほうじょう）を祈るとされる。

大嘗祭には、全ての都道府県から特産の農水産物が「庭積机代物（にわづみのつくえしろもの）」として供えられ、神奈川県からは落花生、茶、ダイコン、キャベツ、のりの5品目を献納。ＪＡはだのは、落花生を納める農家として、安定的に良質な落花生を生産している清水さん夫妻を選出した。

清水さん夫妻は、丹精して育てた落花生3㌔を並木町の「竹のかわせ」が秦野産の材料で作った容器に入れ、ＪＡ営農課職員らと共に宮内庁に届けた。「とても光栄なことなので、声を掛けてもらえて驚いている。一生懸命育てた落花生を納めることができ、うれしく思う」と笑顔で話した。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

今月の特集

4～5面

振興作物で農業活性化へ

ＪＡは、秦野の農業の活性化に向け、第三次地域農業振興計画の一環で、振興作物を選定。5カ年で進める同計画の中で、重点的に生産振興を図っていく。

「かながわ旬菜ナビ」

tvk「かながわ旬菜ナビ」で、12月15日（日）と22日（日）の午前9時から、リポーターの伊藤綾香さんが秦野の農業やＪＡの取り組みなどを紹介します。ぜひご覧ください。

15日は葉ニンニクの収穫や料理作りの様子などを放送。22日は全農が開発した「もち麦うどん」をテーマに、食材の一つとして秦野産のニンジンを紹介します。再放送は、各放送日の翌日午前10時から。

秦野の花の魅力PR

市内各所色鮮やかに

県内有数の花の産地を支えている花き部会の部会員。高品質な花の生産に励む一方で、秦野産の花のＰＲにも取り組み、ＪＡや公共施設などを花で色鮮やかに彩っている。

市長に切り花を贈る

部員から花束を受け取る高橋市長（左から3人目）

花き部会露地部の小川誠一部長ら4人は10月30日、秦野市役所を訪れ、高橋昌和市長に小菊やケイトウなどの切り花約450本を贈呈した。色鮮やかな花束の他「秦野たばこ祭」と併せて実施した露地切り花即売会の売り上げも寄付し、日頃の支援に対する感謝を伝えた。

部員は、施設や農作物の台風による被害状況などを市長に報告した他、鳥獣被害などについても市長と意見を交換。高橋市長は「今年は台風などの影響が大きいと思うが、今後も生産に励んでほしい。市はバックアップしていく」と応えた。

贈った花は、市役所のロビーや図書館などの公共施設に飾られ、市民の目を楽しませた。

直売所に豪華な装飾展示

花き部会は1日、秦野産の花の魅力を広くＰＲしようと、じばさんずの花コーナーに豪華な花の装飾を展示した。11月3日を「花の日」と定めて毎年取り組んでいるもので、今年は6日まで展示した。

同部会を構成する露地部、カーネーション部、バラ部、鉢物部、一般切花研究会のメンバーやその家族合わせて11人が参加。昨年までは各組織の役員で花を飾り付けていたが、今年は多くの部会員らに参加を募った。

部会員が丹精して育てたピンポンマムやカーネーション、バラなどを使って大型の花台やプランターを装飾し、同部が作成した「ＪＡはだのみんなで地産地消運動」の看板の下に配置。足元には色とりどりのシクラメンやビオラなどを並べ、豪華に彩った。

店内を豪華に彩る花の装飾展示

秦野産の農産物供給

デイリーヤマザキ新店舗に

地場産農産物を並べるＪＡ職員

ＪＡはだのは、10月25日にオープンしたデイリーヤマザキ秦野駅前店に、地場産農産物の供給を始めた。

秦野駅前農協ビル1階に店舗を構える同店には、ＪＡがじばさんずの出荷者から買い取った旬の野菜や果物など約10品目を定期的に供給。来店者に地場産をＰＲするため、ＪＡオリジナルキャラクター「やえのちゃん」「ぴーなマン」のシールを貼っている他、売り場にじばさんずの店内広告（ＰＯＰ）を設置している。

より良い営農環境づくり

農業経営士会　市長らと懇談会

秦野市農業経営士会は14日、本所で高橋昌和市長らとの農政懇談会を開いた。地域農業の中核を担う農業経営士の意見を市の農政に反映させ、より良い営農環境づくりを進めることが目的。農業経営士をはじめ、市やＪＡの職員、農業委員ら合計31人が出席した。

高橋市長と積極的に意見を交換

懇談会で話題の中心となったのが、台風19号による農業への影響だ。農業経営士らは、高橋市長と農地や農産物への被害状況などの情報を共有した他、行政による農家への支援内容などについて意見を交換した。

その他、市内で多発している鳥獣被害への対策や、中学校給食への地場産農産物の供給、落花生の振興策などについても活発に話し合った。

高橋市長は「農家の方々には、自然災害に負けずに農業を続けてほしい。市としても復旧に力を注いでいく」と話した。

接近！おじゃします

368

仲間と共に品質向上へ

渋沢の
栗原（くりはら）　泰治（たいじ）さん（70）

渋沢で露地野菜や果樹を栽培する栗原泰治さん。埼玉県出身で、高校卒業後、電気関係の会社に就職。29歳で結婚を機に秦野に移り住み、仕事に励みながら、休日は農作業に汗を流した。58歳で会社を退職し、その後は農業に専念している。

栗原さんは、妻と共に約40㌃の畑で落花生やネギ、プルーンなど年間10品目を栽培。収穫した農産物は、じばさんずなどに出荷している。

山梨県を訪れた際に食べたプルーンに魅力を感じ、11年前に苗木を取り寄せ、近所の仲間と共に栽培を始めた。栽培当初は害虫を防除するタイミングなど、栽培管理の難しさを痛感。そこで相談したのは、ＪＡや共に栽培している農家だ。ＪＡのノウハウも着々と身に付けてきた栗原さん。出荷しているじばさんずでは、プルーンの人気が年々高まっているという。

農業に励む一方で、生産組合の活動にも積極的に参加。視察研修会や座談会に出席することはもちろん、生産組合長も務め、地域農業の活性化に貢献してきた。

栗原さんは「自分が一生懸命育てた農産物を多くの消費者に手に取ってもらえることが、やりがいになっている。今後は、今まで栽培したことがない作物にも挑戦したい」と笑顔を見せた。

やえのちゃんぴーなマンの「ＪＡってなに？？」

大切に守られる都市農業

ぴーなマン

都市農業って言葉をよく聞くけど、どういうものなの？

やえのちゃん

都市農業は、市街地やその周辺で行われる農業のことよ。消費地に近いため、新鮮な農産物を供給しやすいという利点があるのよ。

他にも、身近な農業体験の場の提供や、災害に備えたオープンスペースの確保、潤いや安らぎのある緑地空間の提供など、多面的な役割を果たしているわ。

秦野市の「秦野市都市農業振興計画」の中には目標として①農業経営の安定化と担い手の育成・確保②農地の保全と農地の持つ多面的機能の活用③安全な農産物の生産・消費による地産地消の推進④農業に対する理解の促進と交流の活性化――の四つが設定されているわ。

ＪＡも都市農業振興のために、さまざまな取り組みをしているのよ。

ぴーなマン

都市農業は大切なものなんだね。次回から、それぞれの目標でＪＡが取り組んでいる内容を教えてほしいな。

「にんまるくん」でPR

ニンニクにぺたっ オリジナルシール

上地区ニンニク研究会が、キャラクターを使ったオリジナルシールを制作した。10月下旬から、シールを貼ったニンニクがじばさんずの店頭に並んだ。

同会は、2010年からニンニクの栽培を始め、会員同士で協力して栽培技術を磨いてきた。品質の良いニンニクを効果的にPRするため、シールの制作を発案した。

シール付きのニンニクを並べる会員

シールには、上支所が発行する手書き広報紙「あやめニュース」で生まれたキャラクター「にんまるくん」をデザイン。「にんまるくん」は、JA職員が考案し、地域の小学生が名前を付けたキャラクターだ。

諸星一雄会長は「一目見て上地区のニンニクだと分かるシールができた。今後もキャラクターを活用し、認知度を上げてブランド化を進めていきたい」と意気込む。

振興作物

農業の活性化へJAが力

JAはだのは、秦野の農業の活性化に向け、今年3月に策定した第三次地域農業振興計画の一環で、野菜や果樹など8品目を「振興作物」に選定している。5カ年で進める同計画の中で、TAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）が中心となり、生産から販売まで一貫した指導強化に取り組み、重点的に生産振興を図っていく。

TACと作柄を確認する飯田さん

エゴマ　鳥獣被害ストップ

鳥獣被害低減作物として2014年に導入したエゴマ。鹿やイノシシなどに対して忌避効果を持つ特有のにおいが特徴で、鳥獣被害が多発している地域でも栽培しやすい作物として、生産が徐々に広がっている。

今年は10人が、昨年より8㌶多い合計52㌶の畑で栽培。TACも栽培管理を指導するなど、生産者をバックアップしている。JAは、集荷したエゴマを「生搾りえごま油」に加工し、じばさんずで販売している。

生産者の一人である今泉の飯田確男さんは、TACからの紹介をきっかけに、今年初めて栽培を開始。TACに摘芯や収穫のタイミングなどを相談しながら栽培を進めてきた。収獲したエゴマは粒が大きく、品質は上々だ。

飯田さんは「今年は作業ごとに時間が掛かってしまったが、来年は効率的に進められるよう、JAと相談しながら栽培していきたい」と意気込みを語った。

ニンジン　規格外で加工品も

ニンジンは、2014年から地域振興作物として生産を開始した品目。JAが種子の費用を助成する他、TACが生産者を巡回し、生育状況を確認しながら施肥や病害虫防除などを指導。

規格外となってしまったニンジンはポタージュスープに加工して販売するなど、生産者を幅広くサポートしている。

JAが生産を振興している品種は「アロマレッド」。県内量販店からのニーズなどの情報をもとに、品目と品種を選定した。ニンジン特有の臭みが少なく、食味の良さから直売所などで人気の品種だ。

養毛の桐生正彦さんも、「アロマレッド」の生産に励む一人。生産者の仲間と栽培について積極的に意見を交換しながら、良質な「アロマレッド」を出荷している。

桐生さんは「農家の仲間やTACのサポートもあり、今年も良質なアロマレッドができた。消費者に喜んでもらえることが励みなので、今後も栽培技術を磨いていきたい」と意気込みを語った。

ニンジンの収穫に励む桐生さん

振興作物は、各品目の特性などに合わせて設定している。落花生、津久井在来大豆、キウイフルーツ「丹沢レッド」の3品目を振興作物に、より

振興作物ってなあに？

野菜や果樹など8品目

地域ごとの特色に合った品目として、エゴマ、ニンニク（葉ニンニクを含む）、ニンジン、ラッキョウ、百目柿の5品目を地域振興作物に選定している。

葉ニンニク　特産化へ意欲満々

地域振興作物の一つである葉ニンニク。JAは今年、一層の生産拡大に向けて生産者を組織化した。現在、生産者グループのメンバー16人が、互いの畑を巡回して積極的に意見を交換し、より品質の高い葉ニンニク生産のために連携している。

葉ニンニクは、特有のにおいで鹿などへの忌避効果が見込まれることから、食害を受けにくい作物として地域振興作物に選定した。栽培されている「ハーリック」は葉や茎の部分を食べる品種で、球根の部分を乾燥させる作業がないため、一般的なニンニクより短い期間で出荷できるというメリットもある。

葉ニンニクを収穫する高橋さん

生産者の一人、下大槻の高橋仁志さんは、約4㌶の畑で「ハーリック」を栽培。今年は10月上旬の台風や強風により、折れてしまった株や生育の遅れなどの影響があったものの、品質は上々。高橋さんは「今後もグループのメンバーと連携しながら、特産化を進めていきたい」と意気込む。

葉ニンニクは、12月から3月上旬ごろまで、じばさんずや県内のスーパーなどに出荷する予定だ。

百目柿　菩提地区を中心に

地域振興作物の一つである百目柿は、菩提地区を中心に生産。今月中旬には、天日干し作業が始まり、地元農家らの自宅の軒先などには、オレンジ色に輝く干し柿がずらりと並んでいる。

同地区では、2009年に地元農家らが「ぼだい天干し柿生産グループ」を発足し、特産化を進めてきた。現在、同グループはJAの柿研究会に加わり、生産した干し柿を「はだの丹沢枯露（ころ）柿」として販売している。はだの都市農業支援センターも、干し柿作り体験を企画して秦野産の魅力を発信している。

同地区の山口博さんも生産者の一人。夏の暑さや台風の影響により、例年より生産量が大幅に減少したが、消費者に良質な干し柿を届けようと、作業に連日汗を流している。

山口さんは「来年は例年以上の生産量を確保し、消費者においしい干し柿を届けていきたい」と話している。

山口さん宅の軒先に並ぶ干し柿

発見 頑張り屋さん No.437

来店の方々に感謝

菩提の一槇野（まきの）　秀樹（ひでき）さん（63）

菩提の「中華食堂ひでいち」を営む槇野秀樹さん。相模原市で生まれ育ち、就職した横浜市にある中華料理店を皮切りに、県内各地で料理の腕を磨いた。29歳の時には独立して秦野市に移り住み、桜町に自身の店をオープン。その後、現在の場所に店を移し、今年で22年目を迎えた。今年1月末に体調を崩し、約3カ月にわたって店を閉めることになってしまったが、リハビリに励みながら徐々に回復。現在も家族で協力しながら店を切り盛りしている。

——提供している料理は？

ラーメンやギョーザなどの中華料理を中心に、約30品を提供しています。特にタンメンが人気です。以前、日本で初めてタンメンを提供した店で修業を積んでいたので、私にとってもタンメンは自慢の一品です。

——こだわりは？

麺にこだわっていて、中華料理に合う粉をブレンドして手打ちで作っています。基本を徹底し、その日の気温や湿度に合わせて使う水の量などを調整しながら打つようにしています。

——客層は？

若い方から高齢の方まで、幅広い年齢のお客さまに来ていただいています。近所の方はもちろん、近くの工場で働いている方なども多いです。

——今後は？

お休みを長くいただいた期間がありましたが、常連のお客さまに気遣いをしていただきました。これまで通り多くの方々にご来店いただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も体調に気を付けながら店を長く続けていきたいです。

1万人以上来店　じばさんず周年祭

じばさんずは9、10の両日、同店が開店17周年を迎えたことに合わせ、周年祭を開いた。2日間で市内外から1万人以上が来店し、にぎわいを見せた。

同店敷地内では、産地間提携を結ぶ10JAのファーマーズマーケットなどの模擬店が軒を連ね、福島県JA会津よつばの干し柿「蜂屋柿」や、JAおきなわの海ぶどう、シークワーサー関連商品など、全国各地の特産品を販売。地元農家グループが手作りした加工品も人気を集めた。

2000円以上購入した来店者を対象にした、地場産のミカンや花などが当たる抽選コーナーも設けた。

来店者でにぎわう抽選コーナー

秋だ祭りだ 大にぎわい

協同組合をPR　市民の日にフェスタ

JAはだのは3日、秦野市総合体育館正面けやき広場で「市民の日 協同組合フェスタ」を開いた。協同組合を広くPRしようと毎年実施しているもので、今年はJAをはじめ、生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープなど、各協同組合が模擬店を出店した。

JAからは、じばさんずや女性部などが模擬店を出店した。青年部は、JAグループが取り組む「やっぱり国産農畜産物推進運動～みんなの良い食プロジェクト～」をPR。じばさんずなどに関するアンケートに答えた来場者に、部員が作った野菜や加工品を手渡し、国産農畜産物の消費を呼び掛けた。

来場者でにぎわう青年部のブース

農業、JAへの理解促す

東支所 運営委が組合員のつどい

東支所運営委員会は2日、地域の組合員らに農業やJAへの理解を促そうと、寺山の畑で組合員のつどいを開いた。組合員ら約40人が参加し、サツマイモの収穫などに励んだ。

同企画は2017年にスタート。今年も参加者や委員らは収穫に向け、苗の定植や害獣対策用のネット張りなどの作業を協力して進めてきた。

参加者は委員から収穫方法を教わった後、1人3株ずつ掘り起こした。その後、同支所の職員による講義で、JAの農業振興に向けた取り組みなどを学習。収獲したサツマイモの重量比べ大会の後には、委員を務める女性部員らが作った6品のサツマイモ料理を味わいながら、互いに交流を深めた。

山岸勉委員長は「参加者の反応も良く、手応えを感じている。今後は内容をさらに充実させ、参加者を増やしていきたい」と意気込みを語った。

サツマイモの収穫を体験する参加者

獣害軽減へくくりわな

捕獲講習会

はだの都市農業支援センターは7日、JA本所でくくりわな捕獲講習会を開いた。鹿やイノシシによる農作物への被害軽減につなげようと、農家ら35人が、くくりわな使用時の注意点や設置方法などを学んだ。

講習会では、県湘南地域県政総合センターの職員が、わなを設置する際に気を付ける法令上の注意事項を説明した。その後、県かながわ鳥獣被害対策支援センターの職員が、くくりわなを使った捕獲手順を解説。わなは獣が通る道に置き、こまめに見回りをすることなど、効果的に設置するポイントを解説した。

くくりわなの設置方法を学習

特設スペースに並ぶ豪華な菊

豪華な作品84点ずらり

直売所で菊花展

菊花会は1日から、じばさんずで菊花展を開いた。店舗敷地内の特設スペースには、会員11人が出品した豪華な大菊がずらりと並び、来店者から注目を集めた。

会場に並んだのは、「盆養」や「だるま」に仕立てた大菊など84点。審査会では、全体のバランスや葉の色つやなどを競い合った結果、東田原の大津福造さんが仕立てた盆養厚物「国華金山」が最優等組合長賞を受賞した。

関野勇会長は「夏の日照不足や台風の影響が心配だったが、会員の栽培技術が高まってきたことで、今年も見事な菊が出そろった。菊花展は会員にとって良い刺激になっているので、今後も継続して開催していきたい」と笑顔で話した。

体操で転倒防止

戸川西生産組合が健康教室

戸川西生産組合は14日、戸川の福祉施設「ときの家」で健康教室を開いた。組合員21人が参加し、青竹を使った自宅でも簡単にできる体操などを学んだ。

健康教室は、JAが設ける助成制度を活用したもの。全国のJAグループが取り組む「JA健康寿命100歳プロジェクト」の一環で、24あるテーマの中から生産組合が選択して開いている。

参加者は、JA神奈川県厚生連の保健師から、加齢により骨や筋肉が衰えると転倒しやすくなることなどを学習。対策として、青竹を踏んで体のバランス能力を鍛える「JAテントウムシ体操」を実践した。

テントウムシ体操をする組合員

野菜の消費拡大へ

施設部がキャンペーン

やさい部会施設部は、今年も「感謝そして未来へキャンペーン」を実施している。市内のJAの直売所や量販店、個人直売所などに並ぶ同部の野菜に、JAオリジナルキャラクター「やえのちゃん」「ぴーなマン」のシールが貼ってあり、5枚集めると応募できる。応募者の中から抽選で豪華景品が当たるキャンペーンだ。

応募方法は、各店舗に用意しているキャンペーンの用紙に、集めたシールを貼り付け、じばさんずにある応募箱に投函する。締め切りは2月29日（土）午後6時まで。

1日には、部員らがじばさんずの店頭に立ち、キャンペーンのちらしを配りながら来店者に取り組みをPRした。

来店者にキャンペーンを紹介する部員

文芸の窓

〈俳句〉（選）敏光

広庭の落ち葉タンゴのリズムに酔ひ　菊池としえ（菩提）
おしゃれ着や初冬の日和悩ましき　志賀　明子（千　村）
収穫の済て安堵のおでん鍋　芦川　松江（八　沢）
そぞろ寒この頃夫の優しくて　志田　恵美（南が丘）
里の味居心地よさの芋煮会　柴崎　和子（渋　沢）
湧水のかろき吐息や秋ふかむ　高橋　順子（大秦町）
みどり児の福耳をもつ柿日和　柳川みち子（栄　町）
御列のティアラの光り菊日和　佐藤英美子（南矢名）
被災地に残る暗淡枯れ尾花　森高　由子（渋　沢）
折り鶴に鋭角多し冬に入る　高島美和子（名古木）
千代に古り経文石の畳に秋　吉田　清美（渋　沢）
天皇の威厳もあらた冬に入る　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

遠からぬ買い物弱者の身を思い定期宅配の説明を聞く　細田　富士（千　村）

評　高齢者となり車の免許返納などに従って、交通手段が失われたとき買い物弱者となる。誰にでも来る環境の変化に思いを及ぼしているのである。（定期宅配の説明をききぬ遠からざる買い物弱者とならむ日のため）語の順を変えたほうが形が整う。

スタッフは名に「子」のついたるベテランのみ医局に若き乙女は見えず　八木　実（鶴巻北）
雨やみて七色の橋北空に令和の始まり祝いおるごと　石田こずゑ（水神町）
甘藷品種改良進み十月の探し掘りでも太り過ぎあり　伊東　久（渋　沢）
加工すらしていないのに出品し業者の品で優秀賞に　峰　孝子（千　村）
1.4パーセントが支える自給率37パーセント　選者
令和の秋の風冷えわたる

※選者による添削あり

今月の理事会

11月20日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2018年度県常例検査結果の通知事項に対する改善状況報告（経過報告）について
▽2019年度仮決算監査意見書に対する顛末報告について
▽内部統制支援（業務監査）にかかる「内部統制支援・監査契約書」の締結について
▽南支所の改修について
▽2019年度秋の座談会意見・要望の対応について
▽共済端末機器等の更新に伴うリース契約の締結について

受賞おめでとう！

日頃の成果を発揮

野菜部会施設部は10月18日、市内圃場（ほじょう）を巡回し立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎トマトの部▽優秀賞＝田中和幸（上大槻）▽優良賞＝高橋庸郎（尾尻）▽佳良賞＝伊奈清（下大槻）村上耕一（堀山下）

◎キュウリの部▽優秀賞＝今井新（奎町）▽優良賞＝高橋庸郎（尾尻）伊奈清（下大槻）▽佳良賞＝小島晴夫（上大槻）杉崎誠（菩提）

◇

神奈川県酪農業協同組合連合会は10月27日、神奈川県家畜集合センターで神奈川県乳牛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎第4部優秀賞1席＝山口勇（菩提）柏木昭二（横野）▽優良賞＝高梨福太郎（菩提）

◇

花き部会鉢物部は5日、市内圃場を巡回してシクラメン立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

▽優秀賞＝加藤光徳（平沢）

◇

神奈川県茶園共進会が13、14の両日、県内圃場を巡回して開かれた。審査の結果は次の通り。

▽優等・農林水産大臣賞＝山口勇（菩提）▽2等・全国茶生産団体連合会会長賞＝柏木昭二（横野）▽2等・神奈川県農業共済組合長賞＝高梨福太郎（菩提）

◇

第55回秦野市農産物品評会の各類の最優秀賞受賞者は次の通り。

▽神奈川県知事賞＝林道弘（戸川）・ストック
▽神奈川県湘南地域県政総合センター所長賞＝小澤喜一（南矢名）・キウイフルーツ
▽秦野市長賞＝石原次男（渋沢）・ダイコン
▽秦野市議会議長賞＝谷徳子（千村）・サツマイモ
▽秦野市農業委員会会長賞＝松下設子（小蓑毛）・梅干し
▽相州落花生協議会会長賞＝清水正夫（鶴巻南）・落花生

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

99歳（白寿）

▽南地区＝加藤ヤエ子（鈴張町）

88歳（米寿）

▽大根地区＝飯島貞男（北矢名）関野延雄（下大槻）高橋みさを（南矢名）
▽東地区＝小野日出（東田原）
▽南地区＝安藤キク江（平沢）
▽西地区＝北村秀子（堀山下）

77歳（喜寿）

▽大根地区＝今井米三（南矢名）高橋昇三（下大槻）
▽東地区＝小澤勝彦（西田原）
▽南地区＝福森克義（平沢）
▽西地区＝小林春彦（平沢）古谷正義（堀川）町田仁子（堀川）
▽上地区＝秋山健夫（菖蒲）

※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。

秦野の農家ご飯

昔ながらのピーナツみそ

大根支部　高橋　時子さん

■材料■
みそ130㌘、砂糖140㌘、生落花生（皮付き）500㌘、サラダ油適量

＜作り方＞
①ボウルにみそと砂糖を入れてよく混ぜ合わせ、半日寝かせる。
②鍋に生落花生を入れてサラダ油をひたひたになるまで注ぎ、中火に掛ける。
③10分ほど揚げてかりっとしたらざるに空け、ペーパータオルで余分な油を吸い取る。
④熱いうちに①に入れてさっくりと混ぜる。
⑤バットに移し、粗熱を取って冷ます。

＜ひとことアドバイス＞
砂糖の量を少なめにするとご飯の付け合わせや酒のさかなになり、多めにするとお茶請けにもなります。揚げる時、落花生からパチパチと音がしてきたら油から上げる目安です。

家の光　今月の新刊

おかずがいらないごっついスープ　きじまりゅうた　著

具だくさんで食べごたえのあるスープレシピ全61品。野菜がたっぷり取れるのはもちろん、肉などのタンパク質も入っているので、一品でお腹いっぱいに。

メイン食材は2～3種のみで、忙しいときにも大助かり！

定価1430円（税込み）

結婚相談日
12月10日（火）
時間　午前9時～正午
場所　本所農業団地センター1階
お問い合わせ
組織教育課☎81－7714

税務相談日　12月10日（火）午前9時30分～
法務相談日　12月20日（金）午後1時30分～
場所　本町支所
予約制ですので、事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。
受け付け・ご予約は嫩協同コンサルトはだの
☎81－2329

JAグリーンは農家を応援します

JAグリーンはだのは12月7日（土）～15日（日）、種子を除いた全ての生産資材を3％引きで販売します。お得なこの機会にぜひご購入ください。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81－7719

12月7日～15日

生産資材3％オフ

ローン・年金相談会

●住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。
●これから年金を受け取る方の複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

ご来場の方に記念品を進呈

ローン　12月7日（土）　12月21日（土）　本町支所
年金　12月15日（日）　本町支所

※時間は午前9時～午後4時まで。どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

それぞれ事前予約をされると便利です。
◆各種ローンを相談される方は融資課に
◆年金受給手続きを相談される方は信用課に

■融資課　☎81－7713　当日は0120-954-093
■信用課　☎81－7716　当日は0120-954-092

2019年末特別貯蓄運動

ウィンターキャンペーン

※キャンペーン期間※　12月30日（月）まで

新規で20万円以上の定期貯金（1年以上自動継続）をご契約いただいた方に　うれしい

期間限定　くみあい利用券プレゼント

20万円ごとに100円分を進呈！

※新たな資金での定期貯金預入に限ります。　※期間中お1人様につき10,000円分が上限となります。　※くみあい利用券は、じばさんずやJAはだのの給油所、本支所店等の購買品を購入の際にご利用いただけます。

※個人の方の契約に限ります。
※全利情勢等により、お取扱いを中止させていただく場合がございます。
※ATM、ネットバンクからの預入は対象外となります。
※くみあい利用券の進呈総額が250万円分に到達次第、終了となります。

さらに「秦野産の農産加工品詰め合せ」抽選プレゼント！
新規定期貯金20万円以上預入された方を対象に抽選で合計300名様に秦野産の農産加工品をプレゼント!!

さらに窓口にご来店され、新規定期貯金を預入された方に「足柄茶」ボトル缶1本プレゼント！（290g）※お1人様1本限り

2019年度書道・図画・作文コンクール

入賞作品【秦野市農業協同組合長賞】

JAはだのは、次世代を担う地域の子どもたちの豊かな心を育むため、市内の小・中学生、高校生を対象に「書道・図画・作文コンクール」を毎年開いています。

今月は書道・図画の部の秦野市農業協同組合長賞9点の他、秦野市長賞と秦野市教育長賞の受賞者を紹介します。作文の受賞者は、次号で紹介します。

また、書道と図画の入賞作品を毎年、韓国・台湾・タイの子どもたちと交換しています。今年も、児童・生徒の作品がアジアの国々との懸け橋になっています。

作文の部は次号掲載

書道半紙の部

鶴巻小2年　高野　優咲（ゆうさ）

南小4年　長澤　和泉（いずみ）

西中3年　柴崎　優芽（ゆめ）

書道条幅の部

北小2年　小山田　心音（こころね）

南が丘小6年　加賀　心々那（ここな）

南中1年　多出村　柚佳（ゆずか）

【秦野市長賞】
◆書道半紙の部
天野　博音（南小3年）
諏訪部　航一（鶴巻小5年）
三野　謙真（南中2年）
◆書道条幅の部
峰村　曜（南が丘小3年）
今井　瑠南（大根小4年）
朝倉　捷充（北中2年）
◆図画の部
中村　柊葵（大根小1年）
☆知道農業協同組合長賞
梅津　大裕（堀川小5年）
越崎　航輝（南が丘中3年）
☆NH農協銀行坂州市支部長賞
【秦野市教育長賞】
◆書道半紙の部
高橋　真人（西小1年）
◆書道条幅の部
石太田　蒼大（堀川小1年）
田村　有依梨（北小5年）
芦川　希歩（南が丘中3年）
◆図画の部
守屋　大翼（大根小2年）
片野　斗翔（北小4年）
中座　秀真（南が丘中2年）
山本　美咲（本町小6年）
菱沼　千咲（本町中1年）

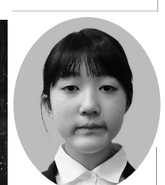
図画の部

東小3年　加藤　佑惟（ゆうい）

「98才ひいおじいちゃん夏の畑仕事」

東小6年　小磯　穂高（ほたか）

「庭のオニユリ」



南が丘中2年　軍司　陽花（はるか）

「雪の上できつねのいねむり」

エスディージーズ
SDGs意識し活動

北支部　ごみ処理施設見学

女性部は、国連の定めたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、環境を守る活動に力を入れている。部の活動を見直してSDGsにつながるものを確認する他、神奈川県がSDGsの一環として発表した「かながわプラごみゼロ宣言」に合わせ、支部ごとに取り組み目標を設定。部員一人一人がSDGsに対する意識を持って活動している。

衣類ごみの処理施設を見学

同部は、毎年取り組んでいる「エコキャップ回収運動」や「健康寿命100歳プロジェクト」などの活動内容を、SDGsの17の目標に当てはめて分類。日頃の活動がそれぞれの目標につながっていることを確認するとともに、SDGsへの取り組みを部員に促している。

さらに、深刻化する海洋汚染に対して神奈川県が今年8月に発表した「かながわプラごみゼロ宣言」を受け、プラスチックごみを減らすために

食や農への関心高めて
家の光クッキングフェスタ

JAはだのは10月28日、JA本所で女性部員らを対象に「家の光クッキングフェスタ」を開いた。地場産農産物を中心に使った料理を通じて、食や農への関心を高めてもらうことが目的。部員ら125人が参加した。

参加者は、講師を務める料理研究家の田口成子氏から「牛肉と梨の巻きご飯」の調理方法を学び、調理を進め

調理に励む部員ら

ながら、調理を進めた。昼食では、講師らが受けながら、調理を進め習。講師らのサポートを

事前に用意した「サツマイモとリンゴの白和え」や「サトイモとハクサイの汁」など合計6品目を味わい、調理方法を学んだ。

その他、田口氏が「体のセルフチェック・家庭の食を次の世代に伝える」と題して講演。野菜や果物の効能などを解説した後、家族で食卓を囲んで子どもたちに食の大切さを伝えることの重要性などを説明した。

獣害から大豆守ろう
女性部員が電気柵設置

女性部は6日、上大槻の畑に電気柵を設置した。同部が取り組む「自給率向上！　大豆プロジェクト」の一環で、収穫期を迎えた大豆を獣害から守ろうと、今年初めて実施。部員ら8人が参加し、約14㌃の畑を電気柵で取り囲んだ。

部員らは㈱アポロ販売の社員の指導の下、約3㍍間隔に支柱を設置。さらに地面から20～30㌢間隔に5本の通電線を張り巡らせ、鹿などの大きな動物に対応できるようにした。

電気柵の支柱を設置する部員

協力してかかしを作った

できることを各支部で協議。「買い物には必ずマイバッグを持参する」「ストローやスプーンをもらわない」など、具体的な取り組み内容を支部ごとに定めている。

北支部では、部員の発案でごみ処理施設の見学を実施。10月23日に部員ら12人が、市内の衣類ごみとプラスチックごみの処理施設を訪問した。

きれいな衣類は発展途上国などに輸出してリユースし、着られない衣類はクッション材などにリサイクルされていることを学んだ他、プラスチックごみを処理する機械などを見学した。

キャラクターかかしでPR
女性部と理事が連携

JAはだの女性理事と女性部は5日、JAオリジナルキャラクター「やえのちゃん」と「びーなマン」のかかしを作った。

両者は2015年から連携をスタート。女性の視点からさまざまなアイデアを生み出し、JAの活性化につなげるとともに、女性組合員が活躍しやすい環境づくりを進めている。

かかしの制作はさまざまなアイデアを出し合い、ペットボトルなどを使うことで雨に濡れても壊れにくくするなど、工夫を凝らした。

同部が栽培する大豆の畑に設置し、JAや同部のPRに役立てていく。

いきいき女性部活動
「京扇会」
代表　有馬律子（ありまりつこ）さん

京扇会は「きもの着付け教室」から結成したリメイクの趣味グループです。

発足は、着物の着付けで使うボディーメイク用のキャミソール作りから始まりました。2010年より女性部に加入。南支所に拠点を置き、現在17人で月1回、火曜日の午前10時～午後4時に活動しています。

着られなくなった着物や帯が、いろいろなものに変身していきます。作品が完成した時には、みんな喜びもひとしおお互いに作品の作り方を教え合いながら、毎回リメイクを楽しんでいます。

また「秦野たばこ祭」のたばこ音頭千人パレードの際には、京扇会の2人が浴衣の着付け・帯結びで活躍。成人式での振り袖・袴の着崩れ補正も手掛けています。

支部だより

お茶飲み交流会
本町支部

本町支部は10月24日に本町支所で、南支部は11月6日にさわやか館で、各支所と連携して「お茶飲み交流会」を開いた。

本町支部は、部員が参加者17人と一緒に「三百六十五歩のマーチ」に合わせ、足踏みや手を動かす体操をした。その後、舞踊と腹話術を発表した他、参加者と一緒に「秦野煙草音頭」なども踊った。

南支部

南支部は、参加者21人が健康体操講座で転倒予防につながる体操を実践。カラオケとスポーツ輪投げ「クロリティ」なども満喫した。

輪になって音頭を踊った（本町支部）

大根・西支部

ふるさと料理教室

大根支部はつるまきこども園、ひろはたこども園を対象に、西支部は西幼稚園、ほりかわ幼稚園と、西中学校PTAを対象に、ふるさと料理教室を開いた。

両支部合わせて76人に、太巻きずしや蒸しまんじゅうなどの作り方を教えた。

西支部は20日、西中学校で、西中学校PTAに太巻きずしの作り方を指導。部員は、厚焼き卵で巻く「卵巻き」や断面がバラの花の模様になる「バラずし」を作るこつなどを教えた。

部員から太巻きずしの作り方を教わる参加者（西支部）

12月の女性部行事予定表

2日（月）	7：50～南支部「支部旅行（築地）」
3日（火）	9：00～運動会・農業まつり反省会
〃	13：00～本部役員会
4日（水）	9：30～ふるさと料理教室（東幼稚園）
6日（金）	10：00～大豆プロジェクト代表者会議
9日（月）	9：30～支部役員会（大根）
〃	13：30～支部役員会（東・北）
10日（火）	9：30～支部役員会（本町・南）
〃	13：30～支部役員会（西・上）
11日（水）	10：30～生活文化活動体験発表会
12日（木）	13：00～第15回女性部文化交流会
20日（金）	8：00～東支部「支部旅行（築地）」
24日（火）	13：00～大豆プロジェクトみそ造り（26日まで）

告知板

秦野駅前支店の店舗統合について

長年にわたり組合員・利用者の皆さまにご利用いただいている秦野駅前支店は、2020年2月21日（金）で営業を終了し、南支所に統合します。同25日（火）以降は、南支所またはお近くの支所・支店をご利用ください。

ご不便をお掛けしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

お問い合わせは秦野駅前支店まで。☎81－3922

生産組合土壌診断の実施

田や畑の土壌を分析し、適切な施肥管理によって生産性や品質の向上を図るため、土壌診断を実施します。

◎土壌（分析サンプル）の回収　12月27日（金）まで

◎対象作物　春野菜、その他

◎分析・診断項目　pH（水素イオン指数）、EC（電気伝導度）、硝酸態窒素、リン酸、カリ、石灰、苦土

◎採土袋　各支所・支店または営農課で配布。袋が足りない場合は封筒での代用も可能です。

◎提出場所　各支所・支店または営農課

※分析用の土は日陰で乾燥させ、ふるいに通してから袋に入れてください。量は、ふるいに通した土なら袋半分、通していない土は袋いっぱい入れてください。採土した田や畑の地番の他、自宅住所も記載してください。

◎診断結果　2020年2月中旬に処方箋を付けて郵送します。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

加工相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

◎日時　12月11日（水）午前10時～午後4時

◎場所　本所農業団地センター2階　調理実習室

◎内容　午前は、県農業技術センターの職員による漬物作りの実習。午後は、個別の相談をお受けします。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

じばさんずNEWS

【12月のイベント】

☆「お茶フェア」1日（日）
茶農家が、和紅茶を対面販売します。

☆「国産豚の加工品」3日（火）、21日（土）
㈱フリーデンが国産豚を使用した加工品を販売します。

☆「ユースマルシェ」7日（土）
青年部員がダイコンやハクサイなどを対面販売します。

☆「乾物商品集合」8日（日）
㈱旭洋がお薦めの乾物を販売します。

☆「シクラメン祭り」14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）
秦野産のシクラメンを店頭価格の10％引きで販売します。
地方発送もできます。

☆「ぽかぽかフェア」22日（日）
ユズ、レンコン、ダイコン、ショウガなどの他、鍋の素を販売します。

☆「年末市」28日（土）、29日（日）、30日（月）
野菜や餅、煮豆などの正月用品の他、大人気のコロッケなどを販売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜日
店頭価格から10％引き。※「みくるべたまご」は除く。

☆「試食の日」毎週火曜日
旬の野菜を使ったお手軽料理をご紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「肉の日」毎週木曜日と29日
店頭価格から5％引き。

◎12月10日（火）は定休日です。
◎12月31日（火）の大みそかは午後3時閉店となります。
※準備の都合上、イベントが変更になることがあります。ご了承ください。

じばさんずパート職員募集

じばさんずのパート職員を募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

◎業務内容　レジおよび品出しなど

◎時給　1025円

◎時間　午前8時～午後7時　※時間内でシフト制

◎待遇　社会保険完備・交通費規定支給・車両通勤可など

お問い合わせはじばさんずまで。☎81－7700

生産緑地地区の取得あっせんについて

秦野市より生産緑地法第13条に基づき、次の通り生産緑地のあっせん依頼がありました。

◎土地の所在および地番　渋沢2102番1

◎地目　畑

◎面積　363平方㍍

農業に従事している方で、生産緑地として取得を希望される方は、秦野市都市部まちづくり計画課都市計画担当へご連絡を。☎82－9643

「〝農〟の魅力」写真コンテスト
矢野さんに組合長賞

JAはだのが開いた第15回「〝農〟の魅力」写真コンテストで、落合の矢野正さんが、秦野市農業協同組合長賞に輝いた。

矢野さんの作品は、畑で虫の大きさ比べをする子どもの姿を写したもの。農作業の後に虫を捕まえた子どもの表情を生き生きと写した。

矢野さんは「家庭菜園の畑で、大好きな虫を捕まえる孫たちの楽しそうな姿を写した。受賞できてとてもうれしい」と笑顔を見せた。

受賞作品を手にする矢野さん

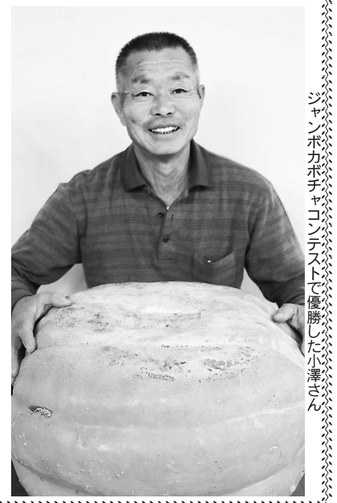
あの人この人

特大カボチャコンテスト
48キロ出品の小澤さんV

南矢名の小澤利明さんが出品した48㌔のカボチャが、秦野市園芸協会が11日にJA本所で開いた「ジャンボカボチャコンテスト」で見事優勝した。

小澤さんは出品に向けて、2歳の孫と共に土づくりから作業を始め、水やりや施肥などの栽培管理を進めてきた。

小澤さんは「今年は孫と一緒に作業したので、孫とカボチャの両方の成長を楽しみながら栽培することができた。丹精して育てたカボチャが優勝してとてもうれしい」と笑顔で話した。


ジャンボカボチャコンテストで優勝した小澤さん

営農技術ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター　0463-22-9521（内山）
農業技術センター　0463-58-0333
普及指導部
・果樹花き課　果樹（笹屋）　花き（藤平）
・野菜課（吉岡）
・作物加工課　作物（木村）

果樹

かんきつ類の剪定

かんきつ類の剪定（せんていし）は収穫後に行います。適期は品種などによって異なりますが、厳冬期を過ぎた2月下旬から発芽が始まる4月上旬までです。

▼間伐

剪定を始める前に、木の間隔が適正か確認します。密植状態では果実の品質や作業効率が低下するだけでなく、病害虫が多発する原因となります。作業効率なども考慮し、人が余裕をもって通れる程度の樹間を確保します。枝同士が交差している場合は剪定の前に間伐を行い、木の間隔を確保します。

▼基本樹形

基本樹形は主枝3本、主枝ごとに2～3本の亜主枝を持つ、開心自然形です。主枝は地面に対して約80度立たせて、各主枝の幅は樹幹の上に人が入ったときに、各主枝の先端に手が届く程度とします。もぎ取り、オーナー園などの場合の樹高は、安全に配慮し、2・5㍍以下が望ましいです。

▼剪定

「主幹から発生した強い内向枝」「亜主枝に重なる枝」「亜主枝から立ち上がる枝」「下垂枝」「間延びした側枝」「逆行枝」「充実していない夏秋梢（しょう）」などを剪定し、外から見たときに、山型になるように剪定していきます。また、黒点病の耕種的防除のため、枯れ枝の剪定もしっかり行います。

かんきつ類は他の果樹よりも、切り口から枯れ込みが進みやすいため、注意が必要です。剪定する際は、分岐部から切り、切り口よりも残る枝の方が太くなるように心掛けます。切り口の周辺に新梢を残しておくと、より枯れ込みにくくなります。また、切り口にはペースト剤を塗布します。過度の強剪定は日焼けや樹勢の低下につながるので注意します。適正な剪定量は木全体の葉の2割以下で、全体の剪定量が多くなりそうな場合は、1～2年様子を見てから切るようにします。

▼病害虫防除

収穫後から1月中旬までは、カイガラムシ類とハダニ類の防除適期です。マシン油乳剤で防除します。高濃度で散布できるのはこの時期だけなので、カイガラムシ類が発生する園では必ずこの時期に防除します。中晩かんについては、必ず収穫後に散布します。薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示内容をよく確認し、記載通りに使用します。

（笹屋）

地域と共に組織を活性化

「秋の座談会」に1102人が出席

JAはだのは9月30日（月）から10月10日（木）まで、市内82会場で「秋の座談会」を開きました。

座談会には、全体で1102人の組合員が出席し、610件の意見・要望が寄せられました。主には、鳥獣被害への対策や台風被害への対応などについて多くの質問および意見が寄せられました。いただいた意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。全ての意見・要望への対応は、各支所・支店にある閲覧用冊子をご覧ください。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のJAはだのの運営に反映させ、さらに発展するように役立てていきます。

意見＝組合員からの意見・要望です

対応＝意見・要望に対するJAの対応です

北町生産組合の座談会（南地区・平沢児童館）

JAはだのの

発行
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）

〒257-0015
秦野市平沢477
電話0463(81)7711㈹
発行責任者 宮永 均

目　次

1面…営農・はだの都市農業支援センター関係
2面…店舗販売・経済・生産資材・葬祭関係
3面…信用・融資・共済・改革推進・生活福祉関係
4面…組織教育・企画・総務・監査・㈱協同コンサルトはだの関係

秋の座談会出席状況
2019年9月30日（月）～10月10日（木）

地区名	出席人数（うち女性）	意見・要望
大根	139（33）	86
本町	100（39）	70
東	147（33）	88
南	153（41）	90
北	130（45）	99
西	263（79）	135
上	106（38）	39
本所	64（30）	3
合計	1102（338）	610

営農

学校給食用米の確保へ

意見 米の作柄はどうか。（大根・東・上）

対応 神奈川県の10月15日現在の作況指数は95で、やや不良となります。94以下を不良としているため、かなり厳しい状況です。収量は例年の8割程度という生産者の声を多く聞いています。

原因は、生育期である7月の低温と日照不足により、十分な分げつ数が得られなかったためだと考えられます。

意見 学校給食に使う米の不足原因は何か。学校給食で使用している米はすべて1等なのか。（大根・東・西・上）

対応 学校給食用の米は年間約3500t必要とされており、半分以上を県産米で確保したいという意向があります。しかし、県下のJAを通じたJA全農かながわへの出荷量では、需要量を賄えていません。これは、生産者の減少や縁故米の増加などにより、JAへの出荷量が減少していることが原因です。このため、学校給食用米確保運動を展開し、集荷量の確保に努めています。また、学校給食で使用される米は1等および2等の「はるみ」「さとじまん」「キヌヒカリ」「コシヒカリ」の主要4銘柄です。

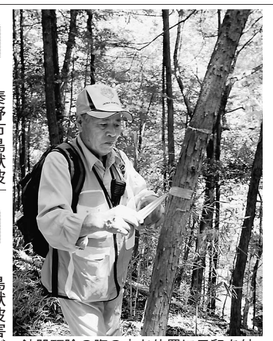
生産者が持ち寄った米を1袋ずつ検査

意見 台風15号での農作物の被害状況はどうか。また、被害の調査は行っているのか。（大根・東・南）

対応 強風による園芸施設への被害がありました。秦野市内を4班体制で巡回し、早期に被害の実態把握に努めました。秦野市と連携し、被害を受けた方への助成の案内なども行っています。

はだの都市農業支援センター

実施隊を設置して獣害軽減へ



銃器駆除の際の立ち位置に目印を付ける隊員

意見 害対策実施隊が設置されたが、どこの管轄で、どのような構成メンバーが何人所属しているのか。また、役割や活動状況などを聞かせてほしい。（大根・本町・東・北・西・上）

対応 害対策実施隊は、はだの都市農業支援センターの市職員（6人）の他、猟友会員（50人）を主な隊員として、2019年6月1日付で組織しました。

鳥獣被害を軽減させることを目的に、農業者や生産組合が設置するわなで捕獲された鹿・イノシシの止め刺しや、防護ネットに掛かった獣類の埋却処理などに対応する他、銃器による駆除に取り組んでいます。

意見 害対策実施隊が設置されたが、どのような構成メンバーが何人所属しているのか。また、役割や活動状況などを聞かせてほしい。（大根・本町・東・北・西・上）

対応 害対策実施隊は、はだの都市農業支援センターの市職員（6人）の他、猟友会員（50人）を主な隊員として、2019年6月1日付で組織しました。

鳥獣被害を軽減させることを目的に、農業者や生産組合が設置するわなで捕獲された鹿・イノシシの止め刺しや、防護ネットに掛かった獣類の埋却処理などに対応する他、銃器による駆除に取り組んでいます。

意見 鳥獣被害が年々深刻化する中で、今年度から秦野市鳥獣被害対策実施隊が設置されたと聞いた。活動内容や捕獲実績を年2回程度は農業者に報告してほしい。また、各地区に設置されている防護ネットを点検し、獣類の侵入を防ぐことも必要ではないか。（大根・東・北・西・上）

対応 害対策実施隊の活動については、秦野市有害鳥獣対策協議会で報告する予定ですが、ご理解・ご協力が得られるように、活動状況の報告方法を検討していきます。地域に設置している防護ネットの点検についても、引き続き生産組合など地域での対応をお願いします。

意見 鳥獣被害対策として、他市では報奨金制度を利用した捕獲頭数の拡大に積極的に取り組んでいる。秦野市でも報奨金などを活用して捕獲駆除への関心が高まるような対策を行ってもらいたい。（大根・東・西）

対応 秦野市では報奨金制度の導入はしていません。今後は他市町村の事例も参考にしながら検討します。

意見 故は、どのような状況で起きているのか。また、JAでは農作業の安全対策をどのように行っているのか。（東）

対応 労災認定事故は6件で、主な内容は草刈り機使用中の事故でした。農作業安全対策として、春・秋に農作業安全運動を展開し、本所・各支所・支店に農作業安全標語看板を設置しました。秋の座談会では農作業安全啓発冊子を配布しました。また、JAグリーンでは、農作業安全用具のキャンペーンを実施し、農機センターでは、農業機械整備講習会や農機安全取扱講習会を開いています。

組織教育

特定生産緑地制度で農地保全を

意見 映画「二宮金次郎」の上映会は評判が良かった。（大根・東・南・北・西・上）

対応 映画「二宮金次郎」上映会には1216人にご来場いただき、協同組合運動の先駆けとして報徳思想を唱えた二宮金次郎の功績を再確認していただきました。また上映前には、報徳二宮神社の宮司による「報徳思想と報徳仕法を現代に生かす」と題した講演会も開催し、協同組合運動への理解促進を図りました。

意見 JAのインスタグラムは、いつから開設しているのか。また、登録方法を教えてほしい。（西）

対応 昨年から若い世代の方に秦野の農業に関心を持っていただきたいとの思いから公式インスタグラムを開設し、定期的な投稿に努めています。インスタグラムから「JAはだの」と検索して登録することができます。また、機関紙などに掲載しているQRコードを読み取っていただいて登録することも可能です。

インスタグラムのQRコード

多くの地域住民が来場した「二宮金次郎」上映会

意見 座談会を開催しても、組合員の参加が少ない。参加を促す良い方法はあるか。（南・西）

対応 開催時間の調整など、より多くの組合員が出席できるような配慮をお願いします。生産組合活動活性化助成基準を活用した健康教室（JA健康寿命100歳プロジェクト）との併用開催などもご検討ください。なお、平日に都合がつかない場合は、土曜日に本所でも開催していますので、出席していただければと思います。

意見 生産緑地法について、改正の概要を教えてほしい。研修会に参加したが、講演会よりもっと詳しい内容で、再度の説明会の開催をお願いしたい。また、個別の相談はできるのか。（大根・本町・東・南・西）

対応 2017年6月に生産緑地法が改正され、生産緑地を継続する仕組みとして「特定生産緑地制度」が創設されました。特定生産緑地とは、指定から30年が経過しようとしている生産緑地について、10年間の延長ができる制度です。また、10年経過後も繰り返し10年間の延長が可能です。なお、特定生産緑地の指定を受け、引き続き農地を管理することにより、税制上の優遇措置が継続されます。

それに加え、都市農地貸借法が制定され、生産緑地の貸借が安心して行える仕組みもスタートしています。相続税納税猶予を受けたまま農地を貸すこともでき、所有者が高齢になり生産緑地の管理が困難になっても、貸借することで継続して管理できるようにして、生産緑地の機能を守っていくことを目指したものです。これらを受け、JAでは都市農業振興と農地保全に向けて改正された生産緑地法に関する研修会を開催し、秦野市から生産緑地の現状と今後の手続きなどについて説明いただきました。今後も秦野市と連携し、取り組みを進めていきます。

意見 都市計画税について、平塚市・伊勢原市・厚木市・小田原市などが0・2%であるのに対し、秦野市は0・25%と高いので、近隣並みの税率となるよう、行政に働き掛けてほしい。（南）

対応 農林業施策要望などで継続的に働き掛けを行っています。

総務

JAビルを有効活用

意見 正組合員数が前年と比べて大きく減少しているが、要因は何か。（大根）

対応 正組合員の高齢化による死亡脱退が主な減少要因です。また、亡くなった時点で脱退とする法定脱退手続きの徹底について行政指導があり、今年度はその整備を進めたため、昨年より大きく減少しました。

意見 JAは正組合員と准組合員の差は設けているのか。（大根）

対応 農協法に基づく総会での議決権や、役員の選挙権は正組合員のみとなりますが、各事業利用や組合員サービスについては同一です。

秦野駅前農協ビルにデイリーヤマザキがオープン

意見 特産センター店の跡は何になるのか。秦野駅前支店閉鎖後はどうなるのか。また、秦野駅前農協ビルの利用状況は。（大根・本町・南・北・西）

対応 コンビニエンスストアのデイリーヤマザキに賃貸し、10月25日にオープンしました。店内には地場産の野菜コーナーも設置しています。

来年の2月21日に閉店する秦野駅前支店の跡は、㈱協同コンサルトはだのの事務所が移転し、2階は新たにテナントを募集していく予定です。なお、秦野駅前農協ビルの3階以上は、市などに賃貸しています。

企画

近隣JAとの事業連携視野に

意見 今の経済情勢を考えると、合併して規模拡大をしていかなくてはいけないと思うが、県下の情勢やJAはだのの予定はどうか。随時、情報提供をしてほしい。また、合併したら細やかなサービスが難しくなりそうだがメリット・デメリットはどうか。（大根・南・北・西）

対応 隣JAが持つ選果場などの施設の共同利用による連携を検討しています。合併によるメリット・デメリットを総合的に検討し、今後も身近なJAで在り続けられるよう取り組んでいきます。

意見 被害が大きいが、JAは被災地の農家支援に行っているのか。（西）

対応 職員派遣や物資の不足などについて要請があれば、JA神奈川県中央会を通じて対応している状況です。職員の派遣については、現地での受け入れ体制の面で難しい場合もあるようです。過去には募金や職員の派遣、被災地の農産物をじばさんずで取り寄せて販売するなどの支援をした経過があります。

今年の台風などによる被災地にも中央会を通じた募金活動により支援を行っています。

監査

会計監査人を設置

意見 JA全中が9月末に一般社団法人になり、またJA神奈川県中央会が連合会に移行されたが、JAの監査はどうなったのか。（西）

対応 改正農協法により組織変更が行われ、JA全国監査機構は廃止となり、貯金200億円以上のJA・信連と負債200億円以上の連合会は会計監査人を設置することになりました。当JAの会計監査人は、みのり監査法人が総会で選任されています。今後は、会計監査人が財務諸表（計算書類および附属明細書）を監査し、それ以外の事業報告およびその附属明細書については、監事監査人が監査し、会計監査人の監査結果を相当と認めるかどうかを表明することとなります。

㈱協同コンサルトはだの

台風被害の修理相談も対応

意見 生活物資の取扱高が増加しているが、アパートによるものか。また、何室増加したのか。（大根・本町）

対応 ㈱協同コンサルトはだのによる施設事業取扱高が、消費税増税前の駆け込み需要により増加したことが要因です。共同住宅は上半期8棟38室増加し、個人住宅建設や営繕（リフォーム）の実績も含まれています。

意見 台風被害に遭った時、修理業者を案内してほしい。（南）

対応 修理業者を案内していますので、各支所・支店および㈱協同コンサルトはだのへお気軽にご相談ください。

店舗販売
庭先集荷の本格実施に向け検討

多くの来店者でにぎわうじばさんず

意見　庭先集荷が試験的に始まったが、内容を教えてほしい。（大根・西）

対応　農産物の買い取り拡大を図るとともに、じばさんずの午後の品ぞろえ対策、出荷者の追加搬入の労力軽減を目的に、9月から試験集荷を始めています。じばさんずから距離がある大根・鶴巻地区と、出荷グループがある峠地区が対象です。

集荷日は月・水・金曜日で、当日午前8時30分までに集荷依頼を受け、原則午前11時から午後1時の間に、物流センターの職員が集荷に伺います。

集荷に伴う手数料は、委託手数料15％に加えて10％の手数料が掛かります。2020年度の本格実施に向け、試験集荷の期間に課題を洗い出し、検討を進めていきます。

意見　消費税増税に伴い、じばさんず出荷者や店内商品などの価格にどのような影響が出るのか。（東・西・上）

対応　消費税の増税に伴い、出荷者に向けて増税および軽減税率の概要や注意点などの説明会を9月に3回開催し、周知に努めました。また、税率変更が必要な生産者に事前対応をお願いしました。その結果、大きな影響を受けずに営業を継続できました。

店内の商品については、軽減税率8％対象商品（野菜・果物・加工食品など）と、標準税率10％対象商品（酒・切り花・鉢物・民芸品など）に区分し、販売および精算を行っています。対象品目ごとに税率変更されているので、日々、出荷者が行う特別な作業はありません。

意見　じばさんずの改装について、具体的な内容はどうなっているのか。大型バスでの立ち寄りも目にするが、トイレの数が足りていないようだ。（大根・本町・西・上）

対応　道の駅などで施工実績のある業者と設計管理等業務委託契約を締結し、改装に向けて取り組みを進めています。10月に利用者アンケートを行い、ニーズを整理しました。11月以降は、利用者ニーズを踏まえ、什器（じゅうき）・内装およびトイレ改修工事の設計を行って、2020年1月以降に着工し、3月に完了する予定です。

トイレ改修工事については、現状の場所のまま改修するため、個室数の大幅な増加は困難ですが、清潔感のあるトイレになるよう改修業者に要望しています。

生産資材
仕入れ強化し安価に提供

意見　農薬の予約注文の方法を考え直してほしい。大量に購入すると期限切れなどの保管・管理が大変になってしまう。（本町）

対応　予約注文で取りまとめをすることにより、安価で提供できるように努めています。さらに、店舗で年間キャンペーン商品を設定し、水稲除草剤は6月にキャンペーンを実施しています。今後も仕入れ強化に努め、店舗での価格に反映させていきます。また、農薬の保管・管理は、保管庫に施錠するなど十分な注意が必要になりますので、ご理解ください。

意見　イノシシ対策として「イノシシびっくり」を購入したが、音に慣れたのか田んぼに侵入されてしまった。また、電池での対応のため手間が掛かる。ソーラー式などはないのか。（東・北）

対応　9月から新たにＪＡグリーンで販売を開始した「イノシシびっくり」は、富山県、福島県、広島県などで販売したところ被害が激減したと聞いています。ＪＡグリーンでもサンプルを貸し出し、効果があるとのご意見もいただいています。今後も効果などを確認した上で、取り扱いを拡大していく予定です。種類としては乾電池式タイプのみとなっていますので、ご理解ください。

意見　農機具の修理を依頼すると出張料金が掛かるのか。（西）

対応　農機センターには料金表があり、作業時間などにより技術料が決まっています。農機の技術料は1時間当たり4000円、自宅などへ伺う場合は、小型農機は出張料1回1500円、大型農機は3000円、大型配送は片道2000円です。農機センター入口に料金表を掲示しています。また、生産組合や個人への配送も可能ですので、農機センターへご相談ください。

意見　農機具のレンタルでチッパーの利用状況はどうか。また、他の農機具のレンタルは考えているのか。（大根・東・南・北・西・上）

対応　上半期の利用状況は30件で、講習会受講者数は208人です。チッパー以外のレンタルについては、全国的に農業機械の事故が多く、利用者の安全面、機械の利用マナー、使用時期が重なるなどの課題もあり、当面はチッパーのみの対応としていきます。

経済
パルシステムと事業連携

意見　パルシステムの登録件数250件は女性部員だけの数字か。また、秦野産農畜産物の取り扱いはしているのか。パルシステムの配達はＪＡが行っているのか。ＪＡの組合員に加入した際に出資しているが、パルシステムを利用するのに更に出資しなくてはならないのか。（本町・東）

対応　登録件数は女性部員だけでなく、ＪＡの組合員や職員を含めた件数です。また、パルシステムが秦野産の農畜産物を取り扱う際には、安全性の確保や、質・量の基準を満たす必要があります。今後、取り扱いができるよう協議を継続していきます。

配達はパルシステムが行っていますが、加入手続きなどはＪＡで行っています。パルシステムを利用するには「生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ」の組合員加入が条件となり、出資が必要です。

意見　ＪＡプロパンガスを利用しているが、ガス業者から切り替えの勧誘を受けている。ＪＡのプロパンガス料金は他社より高いのか。（北）

対応　プロパンガス料金の自由化に伴い、さまざまなガス業者が営業活動をしています。しかし、変更契約後の料金トラブルなどの事例もあるため、何かありましたら、経済課へご相談ください。

パルシステムの「プチパーティー」で加入促進

また、プロパンガス料金は、近隣のガス業者と比較しても安価になるよう設定しています。さらに、当ＪＡでは、24時間監視システムキャッチ24」でガス器具などの異常を監視しています。

意見　行政へのガソリン給油を依頼したら、住所、氏名、利用目的を聞かれ身分証明書の提示を求められた。その際、給油担当者から組合員購買カードに変更すれば確認は不要となる話を聞いたが、カードの種類によって対応が違うのか。また、携行缶は一度に何缶まで買えるのか。（大根）

対応　ガソリンの販売について、警察庁、消防庁より注意喚起の指導がありました。携行缶に入れて販売する際には、購入者（販売先）の住所、氏名を身分証明書などで確認し、併せて利用目的を確認することとされています。

現金給油カードには、住所、氏名などの登録がないため、その都度確認が必要です。一方、組合員購買カードは、住所、氏名が登録されているため、利用目的だけ口頭で確認しています。

また、販売できる数量に規制があり、1人に対して1日の販売量は、携行缶2缶（40リットル）までお願いしています。

葬祭
安心して利用できるホール運営を

意見　通夜・告別式を1日で行う葬儀があると聞いたが、いくらでできるのか。（大根）

対応　通夜・告別式を1日で行う葬儀を「一日葬」といいます。1階・2階ホールで58万8000円から、2階小ホールで42万3000円から、安置室でのお別れ式（自宅も対応可）で25万8000円から利用できます（組合員価格・税込み）。

施設・祭壇利用料、ひつぎ、骨壺（こつつぼ）、後飾り一式、霊きゅうしゃ、遺影写真、ドライアイスを含みます。なお、供物、香典返し、飲食費、搬送費、寺院費用などは含まれていません。

意見　セレモニーホールの取扱高が減少している。市内での葬儀件数は減っているのか。また、地域情報紙などの紙面に広告を掲載し、一般の人向けにもPRした方が良い。（西）

対応　市内での葬儀施行件数の絶対数は把握できませんが、3月から9月末までの死亡届件数は昨年度861件、今年度853件で、若干減少しています。

また、ＪＡの事業であることから一般の方へ向けた広告ができないということもあります。今後も皆さまに安心してご利用いただけるホール運営に努めます。

信用
定期貯金で農業を応援

意見　団体名義の貯金について、データを整備しているようだが、内容を教えてほしい。（西）

対応　貯金保険事故発生時（ペイオフ）に備え、近年、貯金保険機構から金融機関に対して、貯金保険法に基づいた貯金者データの厳格な整備が、強く求められています。新規登録時だけでなく、既存の団体名義の貯金も整備の対象で、規約や定款の提出などを依頼しています。

ＪＡの口座で取ると、どのようなメリットがあるのか。（西）

対応　金利優遇のあるＪＡマル得定期貯金の利用、誕生日プレゼントの進呈、年金旅行（有料）への参加、現金自動預払機（ＡＴＭ）の入出金手数料のキャッシュバック（月に3回分が上限）があります。

意見　貯金の内容を教えてほしい。（大根・東・南・北）

対応　農業応援定期貯金の利用、農業生産の拡大に寄与することを目的とした定期貯金です。1口50万円で、預け入れ限度はありません。50万円の預け入れで500円分（0・1％相当）の専用くみあい利用券を進呈します（1人上限1000円分まで）。

この専用くみあい利用券は、農畜産物や農産加工品の購入の際に使えるもので、じばさんず・特産センターをはじめ、各直売グループ運営の直売所を含め全7カ所で使用できます。

また、年度末の本定期貯金総額の0・02％相当額を当ＪＡが農業者の応援（地域農業振興費への充当）などに充てます。貯金者の負担はありません。金利はスーパー定期1年（単利型）の店頭金利で、事業分量配当金の対象外となります。

意見　「定期性期日のご案内」と「定期積金期日のご案内」の発送がなくなるようだが、なぜか。また、法人・団体・マル優の場合はなぜ発送が継続されるのか。（大根・本町・東・西・上）

対応　情報技術（ＩＴ）の普及によるペーパーレス化が進む中、ＪＡバンクは11月18日からＪＡネットバンク契約者を対象に、案内状と同じ内容をＥメールで配信するサービスを開始しました。これに伴い、10月31日作成分をもって案内状の発送を終了しましたので、ご理解をお願いします。

この機会にＪＡネットバンクのご利用をお願いします。契約料は無料です。ご不明な点は各支店へお問い合わせください。

また、法人・団体名義の利用者は税務申告や会計報告などで必要となる他、マル優の貯金者は満期時の利息により預入限度額を超過しないよう管理いただく必要があるため、案内状の発送を継続します。

共済
建物更生共済で台風被害に対応

意見　台風15号による建物被害の状況は。（大根・本町・南・北・西・上）

対応　建物更生共済に加入している物件では、全国で6万4049棟、神奈川県内で8840棟、秦野市内で252棟の被害報告がありました。また、台風19号では全国で3万8743棟、神奈川県内で4043棟、秦野市内で118棟の被害報告が寄せられています（10月31日現在）。台風15号・19号ともに、市内での主な被害は屋根や雨どいの破損でした。

意見　飛ばされてしまった場合、災害対策シートを貸し出してくれるのか。（北）

対応　地域貢献活動の一環として、災害対策シートを無償で貸し出しています。数に限りはありますが、建物更生共済に加入していて台風などで被災された方は、各支所・支店に申し出いただければ貸し出します。

意見　台風で屋根が飛ばされてしまった場合、災害対策シートを貸し出してくれるのか。（北）

対応　ＪＡ共済では自転車損害賠償責任保険などへの加入が義務付けられたが、必ず加入しないといけないのか。（北）

近年、自転車事故の高額賠償事例が増加しているため、ＪＡは、これらの賠償に対応した保険「自転車補償プラン」や「ＪＡ安心倶楽部」への加入をお勧めしています。なお、未加入による罰則はありません。加入を検討される場合は窓口または渉外担当者にご相談ください。

改革推進
正・准組合員一体で農業振興を

意見　自己改革は具体的にどういったものか。また、2019年5月で農協改革集中推進期間が終了したが、5年間を振り返ってどうか。（大根・東・西・上）

対応　「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて取り組んできました。

ＪＡはだのは、全ての部署で目標を掲げて自己改革を実践してきました。

組合員からは、資材の価格引き下げや販路の拡大、地域活動などについて高い評価をいただきました。一方で「今以上に自己改革を進めてほしい」などの声も上がっています。

今後も農業と地域に欠かせない存在で在り続けるとともに、組合員に必要とされるＪＡになるよう、引き続き自己改革を着実に実践します。

意見　准組合員事業利用規制に、どのように対応していくのか。（本所・北）

対応　准組合員の事業利用規制については、正組合員が「准組合員が必要である」と判断すれば良いということです。正組合員には、准組合員が農業経営を継続する上で必要な存在であること、准組合員には、今まで以上に農業や食に対する関心を高めていただくなど、正・准一体となって農業振興を図るために農業協同組合の組合員として役割を果たしていただくよう呼び掛けていきます。

意見　新東名高速道路のサービスエリアなどで地場産野菜を販売する計画はあるのか。売り場を設ければPRにもなり、農業が活性化する。（北・西）

対応　サービスエリア内に出店する場合、24時間営業への対応や高額な賃料、農産物を常時確保できるかなどの課題が多いことから、決定したテナントに、農産物直売コーナーの設置や旬の農産物を臨時的に販売するよう交渉します。飲食店には秦野産の農産物を使っていただくよう、秦野市を通じて中日本高速道路㈱へ要望書を提出しています。今後、具体的な交渉を進めていきたいと考えています。

融資
農業資金の取り組み強化

意見　貸出金残高の資金別の割合を教えてほしい。（西）

対応　貸出金の資金別の割合は、8月末時点で不動産賃貸資金などの事業資金54・6％、住宅資金42％、農業資金1・7％、生活資金0・8％、公共資金0・3％、その他資金0・3％、当座貸越0・2％です。農業資金は小口資金が多いため割合は少ないですが、取り組み強化の結果、件数は増加しています。利子補給や保証料の助成などもありますので、ぜひご利用ください。

生活福祉
健康寿命100歳プロジェクト展開

じゃんけんゲームで交流（お茶飲み交流会）

意見　ＪＡの健康福祉の取り組みとして「ＪＡ健康寿命100歳プロジェクトの展開」とはどのような内容か。（南・西）

対応　「ＪＡ健康寿命100歳プロジェクト」は、心身にわたる健康寿命を延ばそうという趣旨で、健康診断の受診呼び掛けやスポーツ大会、趣味グループ活動などを通じて、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりを支えています。

意見　ＪＡのお茶飲み交流会に参加し、とても楽しかった。（上）

対応　年1回、各支所で開催しています。女性部が手作りの昼食やレクリエーションを企画して、楽しく1日を過ごしていただけるように考えています。ぜひ、誘い合ってご参加ください。

意見　女性部のサポーターとはどのような人たちなのか。（西）

対応　2017年度に運営委員（サポーター）制度を始めました。役員の負担軽減と組織の活性化を目的に、運営委員会への参加を広く部員に呼び掛けています。料理・運動会・農業まつり・保育ボランティア・大豆プロジェクトの五つの運営委員会に加え、今年度は体操と音頭を普及する運営委員会が発足しました。ぜひ、運営委員に加わり活動を盛り上げてください。